

# 文と 一致の 詩書画 モダニズム

2018年

4月10日(火)

6月17日(日)

午前10時～午後6時  
(午後5時30分まで受付)

〈休館日〉 月曜日(祝日の場合はその翌日)

〈観覧料〉 一般 500円

大学生 300円

高校生 200円

小・中学生 100円

※団体20名以上2割引、  
土日祝日は小・中学生無料

〈主催〉 新潟市會津八一記念館

〈共催〉 新潟日報社

〈後援〉 BSN新潟放送

〈協力〉 一般社団法人日本絵手紙協会



AIZU YAICHI  
AIZU YAICHI MEMORIAL MUSEUM

新潟市會津八一記念館 〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 メディアシップ5F  
TEL.025-282-7612 (10:00～18:00) <http://aizuyaichi.or.jp>



1 杉本健吉画・會津八一歌書《伎楽面図・いかでわれ》(新潟市會津八一記念館蔵) 2 會津八一句書画《朝顔図・葉がくれに》(新潟市會津八一記念館蔵) 3 立原杏所筆《北越山水図》(早稲田大學會津八一記念博物館蔵) 4 五十嵐俊明筆《山水図巻》(早稲田大學會津八一記念博物館蔵) 5 中田みづほ画・會津八一書《林樹図・山月蒼々照煙樹》(新潟市會津八一記念館蔵) 6 會津八一書画《菊図・山氣日夕佳》(新潟市會津八一記念館蔵) 7 會津八一筆《日古館宛書簡 昭和9年8月1日付 朱墨竹図》(早稲田大學會津八一記念博物館蔵)

## 近世から現代 つなぐ詩書画の美の軌跡

會津八一(1881~1956)は、歌人、書家、美術史家として活躍し、近代最後の文人とも称されます。

文人とは、時代や国によって意味は変わりますが、詩書画に秀でた教養人のことを指します。

そして文人の詩書画は、優れた精神、人格から生み出された三位一体の東洋的芸術と考えられています。

八一は、文人の生き方、芸術に憧れを抱いていましたが、過去の文人たちの作品をただ模倣するのではなく、自由な精神の中で自己の表現を模索していました。

そのように制作された八一の詩書画は、各々が共鳴するような魅力を持ち合わせています。

八一が制作で最も注意したことは、詩と書と画の調和で、それぞれの良さを損ねないように構図などの推敲を重ねました。

本展は、文人と詩書画をテーマに、新潟における文人の系譜を踏まえながら、八一の文人的芸術世界と、その魅力を紹介します。

また、本年生誕125年を迎える世界的脳神経外科医で俳人の中田みづほ(1893~1975)など、八一と交流があった人物にも焦点を当てます。

市民から文化の薫り高い存在として一目を置かれていた八一とその周囲の人々から、近代の文人の実像を浮かび上がらせます。

さらに、日本絵手紙協会と小池邦夫名誉会長の協力のもと、現代の文人画ともいえる絵手紙とその源流にも着目し、

現代に息づく詩書画の世界を紹介します。

文人と  
詩書画一致の  
モダニズム

## ワークショップ

【講座名】 絵手紙体験「にいがたを描く」  
【講師】 谷雅子(日本紙手紙協会公認講師)  
【日時】 2018年5月11日(金) 10時30分~12時(予定)  
【会場】 新潟日報メディアシップ 2階 日報ホール  
【定員】 30名 【参加費】 1,500円(材料費含む)

### イベントの申し込み方法

※往復はがきで希望イベント名、住所、氏名、電話番号を記入し、會津八一記念館までお送りください。定員に達し次第締め切ります。  
※1通につき1イベント、1名様のご応募といたします。

### 作品解説会

期間中 第2、4日曜日 午前11時 当館展示室にて(企画展入館券が必要です)

## 文芸講演会

【演題】 會津八一と絵手紙  
【講師】 神林恒道(新潟市會津八一記念館館長)  
【日時】 2018年5月11日(金) 14時~15時30分(予定)  
【会場】 新潟日報メディアシップ 2階 日報ホール  
【定員】 100名 【参加費】 500円



## 関連イベント

AIZU YAICHI  
AIZU YAICHI MEMORIAL MUSEUM  
新潟市 會津八一記念館

◎交通のご案内 新潟駅からバス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港からタクシー約15分  
◎駐車場のご案内 メディアシップ駐車場(24時間営業) 220円(30分 税込)、夜間最大(20時~翌9時) 1,000円(税込)  
万代シティ共通駐車サービス券をご利用いただけます。※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。

お問合せ先

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ 5F  
TEL.025-282-7612 / FAX.025-282-7614  
当館へはメディアシップのエレベーターをお使いください。  
(階段はございません)

